



Henri Matisse

パラミタミュージアム 開館20周年特別企画

# シダネルとマルタン展

最後の印象派 光と色彩の詩情



Henri Le Sidaner

2022年 12.3 土 → 2023年 1.29 日

休館日：12月28日(水)～1月1日(日・祝)

開館時間：午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

入館料：一般1,000円(4枚セット券3,000円) / 大学生800円

高校生500円 / 中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援：在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本

中日新聞社 / 読売新聞社 / 朝日新聞社

NHK津放送局 / 三重テレビ放送

協力：日本航空 企画協力：プレントラスト

## 関連イベント

記念講演会「最後の印象派の二人：シダネルとマルタン」

日時：12月18日(日) 午後2時～午後3時30分

講師：古谷可由(公益財団法人ひろしま美術館学芸部長)

参加料：無料(要入館券)、当日午後1時～整理券配布、先着50名

パラミタコンサート「フランスの光の先」

日時：1月15日(日) 午後2時～午後3時

出演：デュオリセロ 小川真貴・近藤悠叶(チェロ)

参加料：無料(要入館券)、当日午後1時～整理券配布、先着70名

※関連イベントは諸事情により、中止になる場合がございます

ご来館の際は、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症の予防にご協力ください。

上アンリ・マルタン《ガブリエルと無花果の木[エルベケール医師邸の食堂の装飾画のための習作]》1911年、フランス、個人蔵  
©Archives photographiques Makt Expert

下アンリ・シダネル《ジェルブローワ、テラスの食卓》1930年、フランス、個人蔵 ©Luc Paris

AMBASSADE  
DE FRANCE  
AU JAPON  
Edouard  
Espéret  
Peintre

INSTITUT  
FRANÇAIS  
アンスティチュ・フランセ  
JAPON

paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

E-mail office@paramitamuseum.com <https://www.paramitamuseum.com>

Facebook (@paramitamuseum) Twitter (@paramita\_muse) Instagram (@paramitamuseum)

パラミタミュージアム  
開館20周年特別企画

# シダネルとマルタン展

最後の印象派 光と色彩の詩情



アンリ・マルタン《腰掛ける少女》  
1904年以前、ランス美術館、Inv. 907.19.165  
©C. Devleeschauwer



アンリ・シダネル《インゾラ・ベッラ、ブドウ棚》  
1909年、メス・メトロポール、クール・ドール博物館、Inv. 418  
©Yves Le Sidaner



アンリ・シダネル《モントルイユ＝ペレー、朝》  
1896年、ダンケルク美術館、Inv. P.496  
©Vincent Bijan

## 「最後の印象派」 二大巨匠に焦点を当てた、国内初の展覧会

19世紀末から20世紀初頭にかけてフランスで活躍した、アンリ・シダネル(1862-1939)とアンリ・マルタン(1860-1943)。国立美術学校で学んだのち、それぞれフランス、イタリアなど各地に滞在しつつ制作に取り組んでいた二人は、フランス芸術家協会展(ル・サロン)への出品を通して知り合い、以降生涯を通じて深い親交を結びました。1900年には、二人を中心に新協会(ソシエテ・ヌーヴェル)を設立。円熟期には共にフランス学士院会員に選出されるなど、当時のパリ画壇の中核を担いました。

印象派を継承しながらも、新印象主義、象徴主義など同時代の表現技法を吸収し、それぞれの画風を確立した二人は、幻想的な主題、牧歌的な風景、生活の情景や身近な人々を、親密な情感をこめて描きましたが、シダネルは北フランスを拠点に黄昏時や月夜などの淡く柔らかな光を、一方のマルタンは南フランスを拠点に陽光の眩い光を描き出しました。

本展は「最後の印象派」と呼ばれる世代の中心人物であった二人の歩んだ道りを約70点の油彩・素描・版画を通して辿ります。穏やかな詩情を湛えた光と色彩の世界をご堪能下さい。



アンリ・シダネル《エタブル、砂地の上》  
1888年、フランス、個人蔵  
©Bonhams



アンリ・マルタン《二番草》  
1910年、フランス、個人蔵  
©Archives photographiques Maket Expert



アンリ・マルタン《クレマンズ・イゾール》  
1895年、ベルギー、個人蔵  
©Archives photographiques Maket Expert

## 次回展示のお知らせ

2023.2.3(金) ▶ 3.28(火) **川瀬巴水 旅と郷愁の風景**

大正・昭和期に活躍した版画家・川瀬巴水(かわせ・はすい/1883~1957)。日本全国を旅して、四季折々の風景を叙情的に描いた巴水は、「新版画」を牽引する存在として、人気を博しています。本展では「旅情詩人」とも呼ばれた川瀬巴水の画家としての生涯を、版画の制作を始めた頃から関東大震災が起きるまで、震災という大きな出来事を経て変化した作風、そして太平洋戦争前後から晩年までの3章に分け、代表的な作品と共に紹介いたします。この機会に、巴水の描いた日本の風景をご覧ください。

■お車をご利用の場合/○東名阪[四日市IC]より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神[菟野IC]より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型/バス駐車可)  
■電車をご利用の場合/近鉄[四日市駅]より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備

paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6  
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com  
https://www.paramitamuseum.com Facebook (@paramitamuseum) Twitter (@paramita\_muse) Instagram (@paramitamuseum)

